

## 第3回 胃がん検診に係る懇談会

---

令和7年11月6日（木） 18:30～

# 第1・2回会議のまとめ

## 受診対象者・受診間隔・検査手法の現状と変更(案)について

	現状	変更(案)
受診対象者	40歳以上	50歳以上
受診間隔	年1回	2年に1回
検査手法	胃部X線検査	・胃内視鏡検査 ・胃部X線検査 のどちらかを選択

※対象年に受診がない場合は翌年に権利を繰り越して受診可能

## 内視鏡検査の実施要件（検査医、検査機関及び読影医）について

原則、国の指針及び対策型検診のための胃内視鏡マニュアル2024改定第2版に準拠する。  
検査医に関しては、マニュアルに定められた基準を満たさない場合でも、同等の経験や技量を有するものと市が認めた医師は検査医と認定する。

## 胃がん検診検討会について

胃内視鏡検診の円滑な運営や制度管理体制等について検討する機関として設置する。  
委員は医師会や各実施医療機関の医師など6名程度を想定。  
胃内視鏡検診を実施する上で、疑義が生じた場合等に適宜参集し意見交換等を行う。

# 胃内視鏡検査実施体制（案）

胃がん検診検討会で意見交換等を実施

保健所運営協議会で審議

市の方針を決定

実施主体（旭川市）

実施医療機関（検査医・読影医）の決定

委託  
契約

委託  
契約

委託  
契約

分類①

分類②

分類③

旭川医大

旭川がん  
検診センター

旭川医師会

読影支援機関（受託者が設置）

ダブルチェック医療機関のマッチング

検査医

検査医兼読影医

検査医兼読影医

自院でダブルチェック実施

検査医  
兼  
読影医

ダブル

検査医  
兼  
読影医

ダブル

検査医

割当てに従い  
ダブルチェック実施  
（相互・一方向）

割当てに従い  
ダブルチェック実施  
（一方向）

ダブル

# 本日の会議の議題について

## 1 胃内視鏡検査の実施要領(案)等について

- ・ 実施要領(案)及び各種帳票(案)の内容について
- ・ 運用フローについて
- ・ 検査画像撮影方法の示し方について

## 2 胃がん検診導入に向けてのスケジュール等について

- ・ ダブルチェック医療機関マッチングについて
- ・ 胃がん検診検討会について

# 1 胃内視鏡検査の実施要領(案)について

---

# 実施要領（案）について

## ■実施要領(案) … 別紙 1

対策型検診のための胃内視鏡マニュアル2024改定第2版をもとに作成

### 様式と保管先

様式	市に提出	実施医療機関保管	ダブルチェック医療機関保管
【様式1】受診票		○	
【様式2】対象者への説明		○	
【様式3】同意書		○	
【様式4】偶発症報告書	○		
【様式5】検査結果報告書	○	○	○
【様式6】精検結果連絡票	○	○	

※様式1～3までの様式について、医療機関独自様式の使用を希望する場合は、市に独自様式を提出し、必要な内容を網羅しているかについて確認を受けることで、使用を可能とする。

※様式6については精密検査実施医療機関が結果を市に提出するため、一次検診実施医療機関には依頼文のみ残る。

# 実施要領(案)のポイント

## ■ 実施医療機関及び検査医・読影医の届出について

### ◆ 実施医療機関の届出

条件を満たす検査医が在籍し、かつ要件を満たす実施医療機関が次の書類を市に提出し、市が認定する。

#### (1) 胃がん検診実施意向調査兼届出書

今年度については、事業説明会時に配付する。

それ以降新規参入したい場合はホームページよりダウンロードできるようにする。

医師会に属する医療機関については医師会を通して提出する。

(旭川がん検診センターは直接提出)

#### (2) (1)に記載した医師の所有資格を確認できるもの

- ・各種認定医、専門医の資格証(写)

- ・概ね年間100例以上の上部消化管内市意向検査を実施している。

→過去3年間の実施件数を記入し提出

(資格証がある人は提出不要)

# 実施要領(案)のポイント

## ■ 実施医療機関及び検査医・読影医の届出について

### ◆ 実施医療機関の届出の変更、実施医療機関の辞退

実施医療機関において、届出の変更や実施医療機関を辞退する場合は、速やかに市へ報告する。

#### ○届出の変更（主に検査医・読影医の変更）

- ・胃がん検診実施医療機関内容変更届出書
- ・（追加の場合）医師の所有資格を確認できるもの

#### ○実施医療機関の辞退

- ・胃がん検診実施医療機関辞退届出書



# 実施要領(案)のポイント

## ■ 胃内視鏡検診時の生検実施について

- 胃内視鏡検診時に同時生検を実施した場合は、**生検部分が保険適用となるため、あらかじめ対象者に説明しておくこと。**
- 検診時の生検は「**胃がんを疑う**」**場合のみ**とする。(必要最小限)
- 生検を実施した場合は、「精密検査」扱いとなるため、通常のがん検診検査結果報告書（様式5）の他に精密検査結果報告書（様式6）も作成し、市に提出すること。

# 実施要領(案)のポイント

## ■ 偶発症への対応について

- あらかじめ対象者に**偶発症が起こりうることを説明し、同意書を取得する。**
- 偶発症を意識した問診**を行う。  
(既往歴、検査歴、服用薬、アレルギーの有無など)  
→問診票(様式1)で**必須項目は網羅**している。
- 検査の中断や処置(投薬、点滴、止血処置等)を要する偶発症、他医療機関への紹介など**何らかの対応が必要であった偶発症については、偶発症発生報告書(様式4)**で速やかに市に報告する。
- 偶発症の報告を受け、市が何らかの対策が必要と判断した場合は、胃がん検診検討会で症例について検討する。

# 実施要領(案)のポイント

## ■ その他

その他、先に確認していただいた要領（案）の中で

- 追加・修正・削除した方が良い項目

- 医学的に問題のあるもの

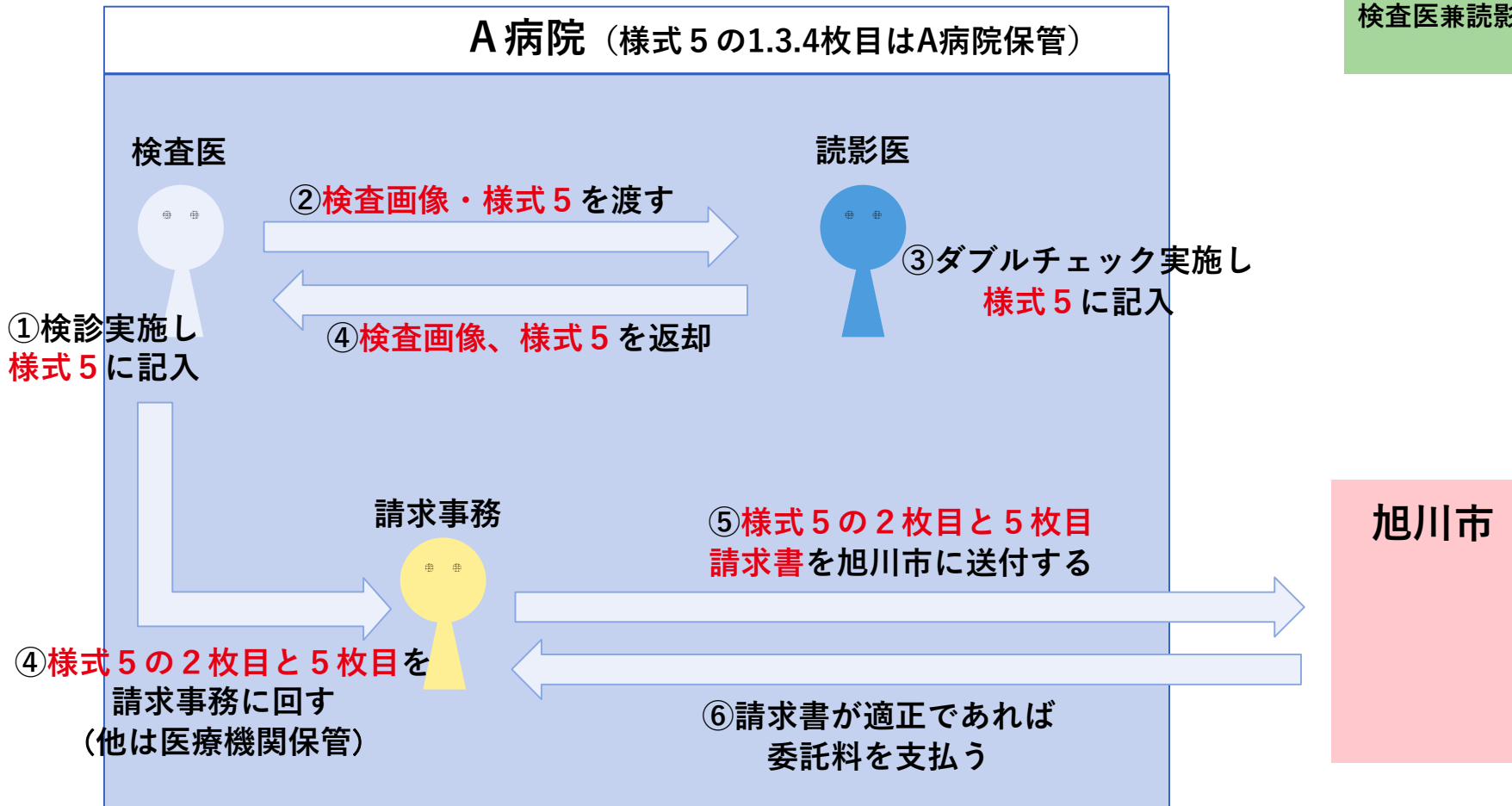
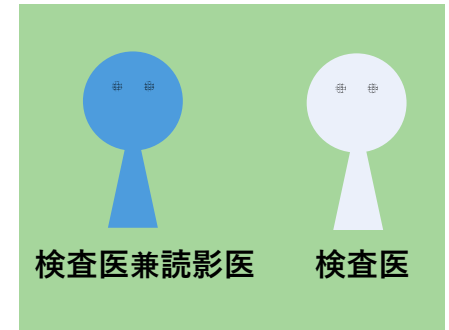
等についてご意見をお願いします。

◆標準検査画像の項目については後ほど別に検討します。

# 運用フローについて

## ■ 自院でダブルチェックまでできる場合

※生検を実施した場合は様式6も請求書と合わせて送ること

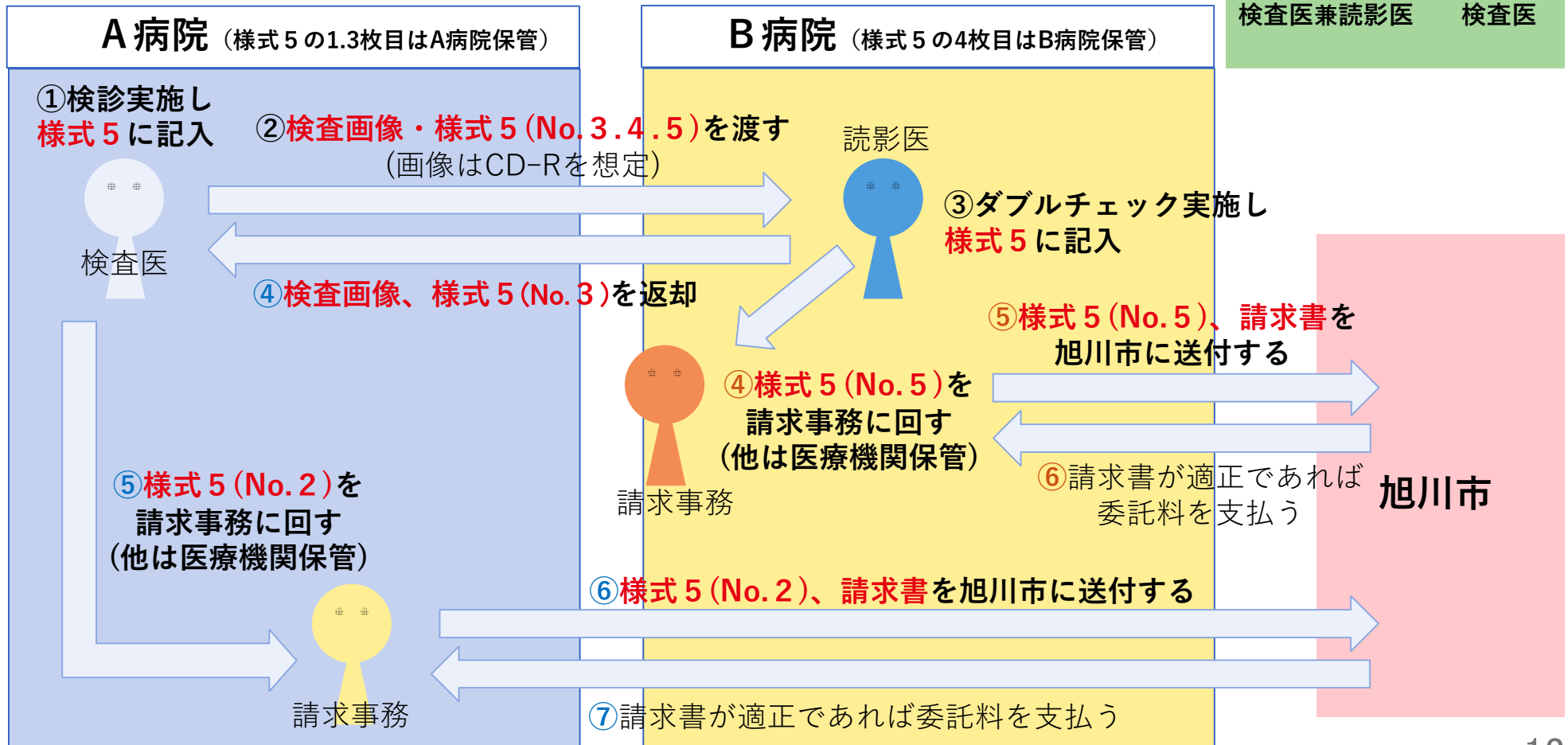
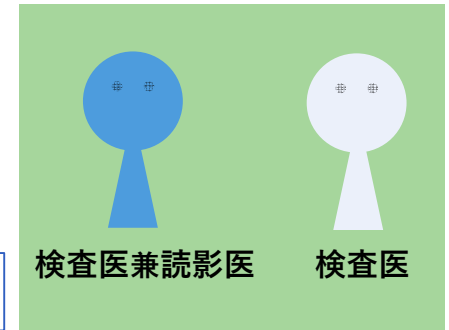


旭川市

# 運用フローについて

## ■ 自院でダブルチェックできない場合

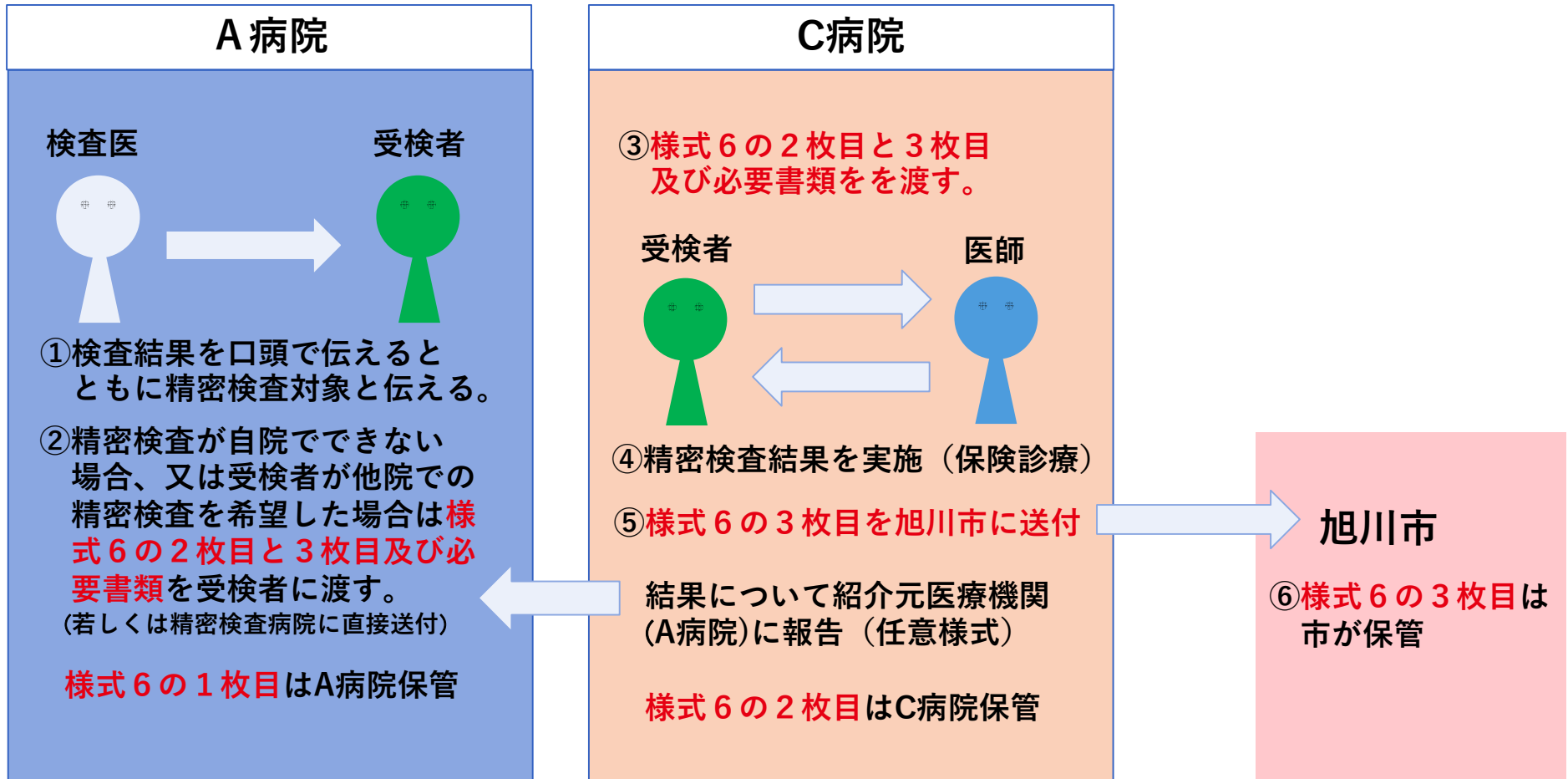
※生検を実施した場合は様式 6 も請求書と合わせて送ること



# 運用フローについて

## ■ 精密検査を他院に依頼する場合

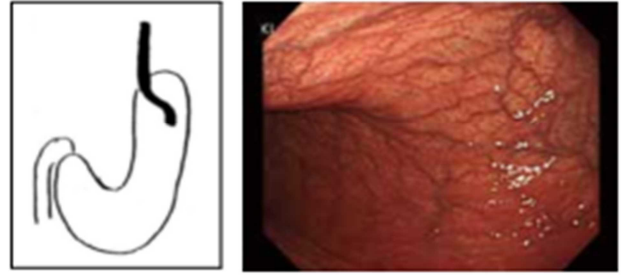
※一次検診のフロー（ダブルチェック）については前ページ参照



# 標準検査画像について

## ■ 標準検査画像の示し方について

標準検査画像について、要領（若しくは別添資料）にどのように示していくか

項目	①〇〇に基づき～など、特定のマニュアルを指し示す	②文書で検査部位に細かく書き記す	③文書と画像で検査部位毎に細かく書き記す
具体例	日本消化器内視鏡学会監修「〇〇マニュアル」に記載されている標準的撮影部位を参考にとすること	ア 胃体上部後壁見下ろし  胃体部後壁は直視型内視鏡を用いる見下ろしでは接線方向となって観察しづらい。体上部では分水嶺（棚）と呼ばれる盛り上がりがあり、アングル操作を行い、盛り上がりの手前側も撮影する。	16. 体上部後壁（いわゆる分水嶺）   体上部後壁でいわゆる分水嶺と呼ばれる部分。ここは瞬の圧痕部であり、病変が多いと同時にランドマークにもなる部分であるため、十分なスコープ回転とアングル操作を行い視野の中心で捉える必要がある。 (新潟市胃がん施設検診実施要領より一部抜粋)
問題点	・ 実施医療機関が参考とするマニュアルやガイドラインを持っていない場合、自身で用意しなければならない	・ 文字だけで書いてあるため解りずらく、画一性が計れない場合がある。 ・ 内容について、専門的知識を有する医師等の確認を得る必要がある。	・ 図や写真について、著作権のないものを準備しなければならない。 ・ 内容について、専門的知識を有する医師等の確認を得る必要がある。

## 2 胃がん検診導入に向けてのスケジュール等について

---



# ダブルチェックについて

## ダブルチェック医療機関マッチングについて

原則として、自院実施医療機関内でダブルチェックに対応できない場合は、読影可能な他の医療機関で対応する。マッチングは読影支援機関（受託者が設置）で行う。

**A病院がB病院に依頼したい（A病院もB病院も検査医・読影医として登録済）**

- ①医師会に報告
- ②医師会から市に報告

**A病院がC病院に依頼したい（A病院は検査医・読影医として登録済、C病院は未登録）**

- ①C病院が「胃がん検診実施意向調査兼届出書」及び添付資料を提出
- ②市がC病院を「読影医」と認定
- ③医師会に報告
- ④医師会から市に報告

**A病院がダブルチェックの相手を見つけられない**

医師会（読影支援機関）が読影してくれる医療機関をマッチング  
医師会でマッチングが難しい場合は市を通して医大や旭川がん検診センターへ

●マッチングの変更が合った場合は、速やかに市に報告すること

# 胃がん検診検討会について

## 胃がん検診に係る懇談会と胃がん検診検討会

～令和8年3月	胃がん検診に係る懇談会	3月末日をもって廃止
令和8年4月～	胃がん検診検討会	<p>参加者 : 医師会や実施医療機関の医師など6名程度</p> <p>任期 : 3年</p> <p>会議頻度 : 随時</p> <p>(胃がん検診を実施する上で、疑義が生じた場合等に参集)</p> <p>会議内容 : 認定資格を有しない者や症例件数が規定に満たない者で、検査医資格の許可を市が判断できない事例の検討や、重篤な偶発症等の再発防止策の検討など、市が有識者との意見交換が必要と判断した場合等に開催</p>

## 内視鏡検査導入スケジュール(案)

